

aiwa

aiwa audio -G PCD1

GAA5-PCD0001

ユーザーマニュアル

aiwa audio -G PCD1

ご使用の前に

本製品を正しくご使用していただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は大切に保管し、わからないことや困ったことがあった時にお役立てください。

※本書の内容を無断で転載や複写をしないでください。

※記載の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※本書記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

※当社では常に製品の品質改善を行っており、お客様のご購入時期によりましては同一製品の中にも多少の差があるものがございますがご了承ください。

※本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。

※本書記載の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

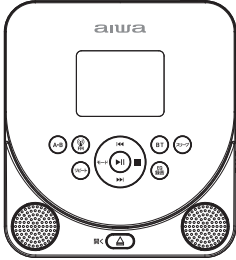
セット内容・・・・・・・・・・	P2
ご使用前のおことわり・・	P2
安全上のご注意・・・・・	P3～P6
各部名称・・・・・・・・・・	P7
ご使用の準備・・・・・・・・	P8
基本的な操作方法・・・・・	P9
各機能の操作方法・・	P10～P18
各種設定・・・・・・・・・・	P10～P11
CDの使用法・・・・・・・・・・	P12～P13
Bluetooth®の受信方法・・	P14
FMラジオの使用法・・・・・	P15
microSDの使用法・・	P16～P18
外部入力の使用法・・・・・	P18
便利な機能・・・・・・・・・・	P19～P21
故障かなと思ったら・・	P22～P23
製品仕様・・・・・・・・・・	P24
アフターサービス・・・・・	P26
保証書・・・・・・・・・・	P26

セット内容

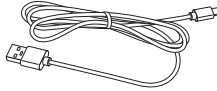
本製品のパッケージ内には以下のセット内容が含まれます。ご確認ください。

※イラストと実際の形状は、変更になるなど、若干異なる場合があります。

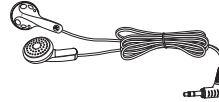
■ 本体



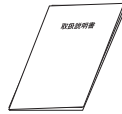
■ USBケーブル (Type-C)



■ イヤフォン



■ ユーザーマニュアル(本書)
[保証書添付]



■ aiwaユーザー登録のご案内

ご使用前のおことわり

- お客様、または第三者が本製品のご使用を誤ったことによって生じた故障や不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者が本製品の使い方を誤った場合や、静電気や電氣的ノイズの影響を受けた場合、または故障、修理の際は、記録内容が変化したり、消失したりする恐れがあります。また、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 重要な内容は必ずパソコンや別のmicroSDカードなど他の記録媒体にバックアップしてください。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。

○お客様、または第三者が本製品のご使用を誤ったこと、または静電気や落雷などの影響を受けたことによって生じた事故や不具合、それらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご承知ください。

○使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷、お買い上げ後の輸送、落下による故障及び破損が認められる場合、いかなる事由においても修理・交換はいたしかねますことを、あらかじめご承知ください。

次の警告表示は、注意事項を守らなかった場合に起こりうる事故の程度を表します



取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことが想定されるもの



取り扱いを誤った場合、使用者が傷害(※2)を負うことが想定されるもの、または物的損害(※3)の発生が想定されるもの

※1：重傷とは、失明やケガ、火傷（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期にわたる通院を要するものを指します。

※2：傷害とは、治療に入院や長期にわたる通院を要さないケガや火傷、感電などを指します。

※3：物的損害とは、家屋、家財、および家畜やペットなどにかかわる拡大損害を指します。

次の記号は、その注意事項の内容を表します。

 禁止 禁止 (してはいけないこと)	 水ぬれ禁止 水がかかる場所で使用したり、水にぬらしたりしてはいけないこと	 ぬれ手禁止 ぬれた手でさわらないこと
 分解禁止 分解しないこと	 指示 指示を守ること (必ずしなければならないこと)	



警告



指示

○下記の問題が発生した場合はただちにご使用を止めて下さい。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

- ・使用中や充電中、保管時に異音・異臭・発熱・膨張・液漏れなどが発生した場合
- ・本製品内部に水や異物が入った場合
- ・本製品が破損した場合

○コードが傷んだり、異常に熱くなった場合は、ただちに本体の電源をオフにし接続を外してください。そのまま使用すると火災や感電などの原因となります。



禁止

○本製品を火中や水中に投入したり加熱したりしないでください。膨張・液漏れ・発熱・発火・破裂により大ケガや火災の原因になります。

○落としたり、投げたりして衝撃を与えないでください。膨張・液漏れ・発熱・発火・破裂により本製品の故障の原因となり修理ができません。

○本体内部に異物を入れたり、端子部に接触させたりしないでください。金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入ったり、端子部に接触すると火災や感電などの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

○自動車やバイク、自転車などの運転中や歩行中は本製品を使用しないでください。交通事故の原因となります。

○梱包で使用しているビニール袋は乳幼児の手の届く所に置かないでください。鼻や口をふさいで窒息するなど、ケガの原因となることがあります。

○ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。本体が落下して膨張・液漏れ・発熱・発火・破裂の原因となります。

○直射日光の当たる場所、車の車内や温室などの温度や湿度の高いところに置かないでください。膨張・液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



ぬれ手 禁止

○本製品を濡れた手で扱わないでください。火災や感電の原因となり大変危険です。また水濡れが原因で発生するショート等が原因で故障した場合は修理できません。



水ぬれ 禁止

○風呂場、シャワー室などでは使用しないでください。本体内部に水が入り、膨張・液漏れ・破裂・発熱・発火・火災・感電の原因となります。



分解禁止

○修理、改造、分解をしないでください。火災や感電の原因となり修理できません。

注意



○USBケーブルを抜き挿しするときは、金属製のストラップなどの金属類を接触させないでください。火災や感電の原因となります。

指示

○USBケーブルを抜くときは、ケーブルを無理に引っ張らないでください。USBケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。

○USBケーブルが傷んでいたり、プラグの挿し込みがゆるいときは使用しないでください。火災や感電の原因となります。

○USBプラグがうまく挿し込めないときは、端子の形や向きを確認してから挿し込んでください。無理に挿し込むと故障や破損の原因となります。

○USBケーブルを接続して本製品をご利用になる場合は、端子部に負荷をかけないように注意してください。



禁止

○本製品の上に物を載せたり、本来の目的以外に使用したりしないでください。ケガや故障の原因になります。

○殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色、塗装はげの原因となります。

○本製品に磁気を帯びたものを近づけないでください。強い磁気を近づけると誤作動の原因となります。また、磁気カードなどを本製品に近づけないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

○本製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、ただちに使用を中止してください。

○ほかの電気機器の近くで使用した場合、お互いが干渉し雑音が発生する場合があります。特に近くにテレビやパソコンなどの機器がある場合、雑音が大きくなることがあります。その場合は離れた場所でご使用ください。

○旅行などで長期間ご使用にならない場合は、安全のためUSBケーブルを本体から抜き、本体の電源をオフにしてください。思わぬけがや火災、故障の原因となり大変危険です。またその場合は修理できませんのでご注意ください。

○本製品を長時間使用する場合、特に高温環境では熱くなることがありますので注意してください。

電波障害に関するご注意

- 本製品は一般的な屋内の環境で使用することを目的としていますが、本製品をラジオやテレビの近くで使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 正しく取り扱っても電波の状況によりラジオ、テレビの受信に影響を及ぼすことがあります。そのような場合は本製品をラジオ、テレビから十分に離してください。

廃棄について (リサイクル)

- パッケージの分別方法は地域によって異なります。お住いの市区町村の指示に従って分別、排出をしてください。識別マークは外箱に表示されています。
- 本製品に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルできます。使用しなくなった製品は、一般のごみと一緒に廃棄せず、お住いの地域の自治体の条例または規則に従って処分してください。



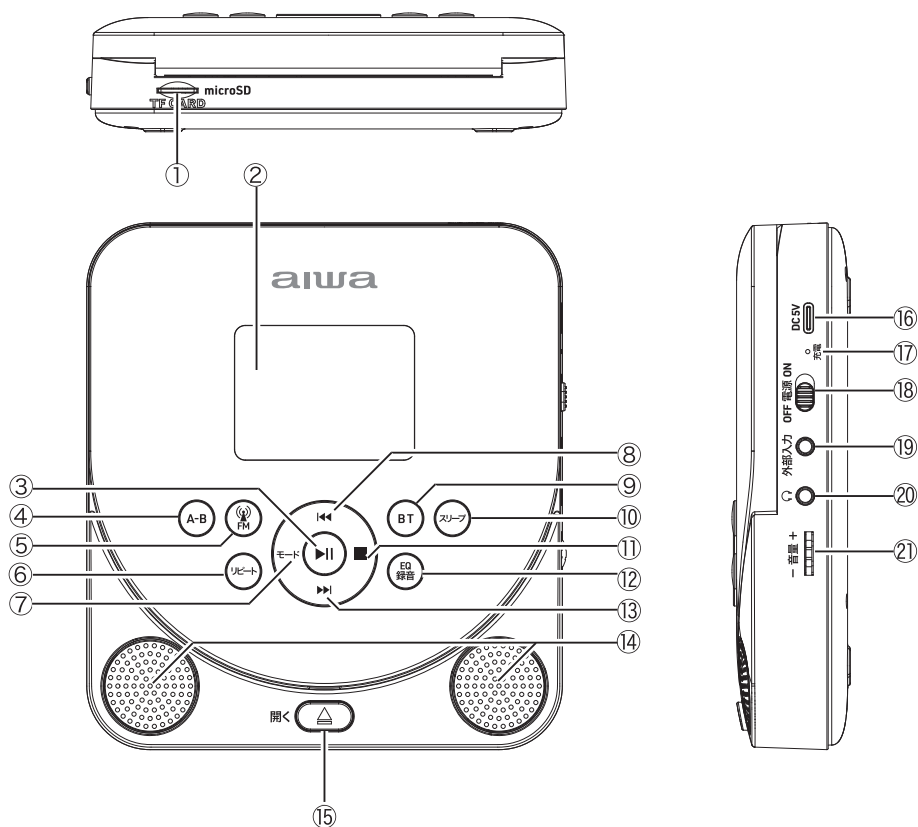
お手入れに関して

- 本体の汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどい場合は布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジンやシンナーは絶対使用しないでください。変色したり塗装がはげたりするなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

結露 (つゆ付き) に関して

- 結露が発生した状態で本製品を使用すると、故障の原因となる場合があります。結露は以下の状況で発生する場合があります。
 - ・寒い場所から急に暖かい場所へ本製品を持ち込んだ時
 - ・暖房をつけ始めた場所や、エアコンなどの冷風が直接あたる場所で使用した時
 - ・冷房がついた部屋、車内などから急に温度、湿度の高いところに移動して使用した時
 - ・湿気の多い場所で使用した時
- 結露が発生した場合は本製品をすぐに使用しないでください。本製品を2~3時間程度室温で放置し付着した水滴がとれるまでお待ちください。

各部名称



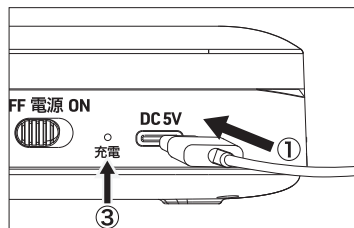
① microSDカードスロット	⑧ 戻りボタン	⑮ CD蓋開放ボタン
② 液晶ディスプレイ	⑨ Bluetooth®送信ボタン	⑯ 充電コード挿込口
③ 再生/一時停止	⑩ スリープ/プログラムボタン	⑰ 充電ランプ
④ A-Bリピートボタン	⑪ 停止ボタン	⑱ 電源スイッチ
⑤ FM送信ボタン	⑫ イコライザー/録音ボタン	⑲ 外部入力端子
⑥ リピートボタン	⑬ 送りボタン	⑳ イヤホン端子
⑦ モードボタン	⑭ スピーカー	㉑ 音量調整レバー

ご使用の準備

本体の充電

○本製品は充電式です。ご使用前に充電をしてください。製品お届け後すぐは内蔵バッテリーの残量が少ない場合があります。付属のUSBケーブルを接続し、充電してからご使用下さい。

- ①付属のUSBケーブルのタイプC(小さなプラグ)を本体右側面の⑩充電コード挿込口に挿し込みます。
- ②付属のUSBケーブルのタイプA(大きなプラグ)を別売りのUSB電源アダプター、またはパソコンなどのUSBポートに挿し込み給電します。
- ③充電中は充電ランプが赤く点灯し、電池マーク  がアニメーション表示され、終了すると充電ランプが緑に点灯し、満充電状態の電池マーク  が表示されます。

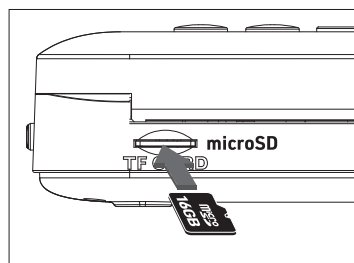


microSDのセット

○本製品で録音された音声ファイルはmicroSDの外部メモリーに保存されます。また、パソコンなどでMP3音楽ファイルを収録したmicroSDをセットして音楽プレーヤーとして使用する事ができます。microSDを使用する場合は以下の通りにセットしてください。

- ①本体上部の①microSDカードスロットにmicroSDカードを文字の印刷面を上にして挿し込みます。
- ②奥まで挿し込み、さらに爪で突き当たるまで押し込みます。「カチッ」と音がして内部でロックされます。真上から見てmicroSDカードが見えない状態が正常な挿入状態です。

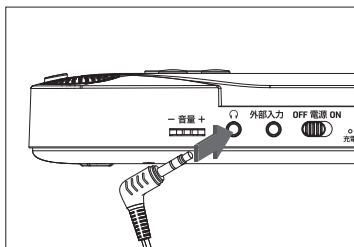
※取出し用のバネが作用しますので、反動で飛ばない様にご注意ください。



イヤフォンの接続

○本製品で再生される音声は本体内蔵スピーカーのほか、イヤフォンで聴くことができます。

- ・イヤフォンを使用する時は本体右側面のイヤフォン端子にイヤフォンのプラグを挿し込んでご使用ください。
- ・イヤフォン端子は3.5mmステレオイヤフォンジャックです。イヤフォンは3.5mmステレオミニプラグタイプのものでご使用ください。

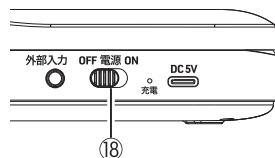


基本的な操作方法

電源オン

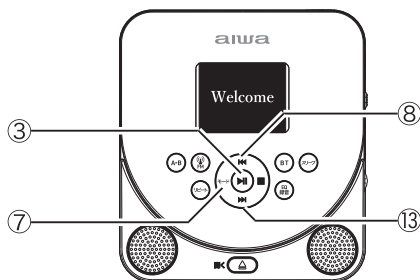
本体右側面の⑮電源ON/OFFスイッチを「ON」の位置にスライドして電源を入れます。

スリープ状態(約60秒)で画面が消えている場合は、③再生/一時停止ボタンを押すと電源が入ります。



電源オフ

本体右側面の⑮電源ON/OFFスイッチを「OFF」の位置にスライドして電源を切ります。停止ボタンを2回押す、または一定時間操作されないと、画面が消えてスリープ状態になります。



音量調整

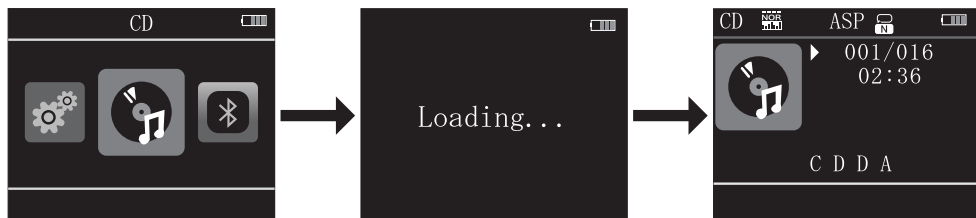
本機の音量調整はレバー式です。＋に傾けて0~30の間で調整してください。

モード(機能)選択画面

電源投入後、使用したい機能に切り替えるための画面です。⑦モードボタンを押して以下の機能アイコンを⑧戻りボタン、⑬送りボタンで切り替えます。使用する機能が中央に表示された状態で③再生/一時停止を押して決定します。



【例：CD機能を使用する場合】 ⑦モードボタンを押してモード選択画面を表示



[モード選択画面]

⑧戻りボタン、⑬送りボタンでCDのアイコンに合わせ③再生/一時停止ボタンで決定

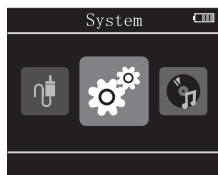
※CD読み込み中画面

CD再生機能画面に切り替わり操作可能になります。

各機能の操作方法

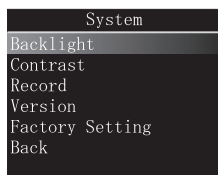
各種設定

本体の設定、録音設定、初期化等をするモードです。



電源投入後、⑦モードボタンを押し[System]の機能アイコンを⑧戻りボタン、⑬送りボタンで選択します。機能アイコンが中央に表示された状態で③再生/一時停止を押して決定します。

※各設定項目画面で約8秒間操作がされないと本画面に戻ります。



各設定項目について

[Backlight]・・・液晶画面のバックライト点灯時間を設定します。

[Contrast]・・・液晶画面の表示の明るさ(強さ)を調整します。

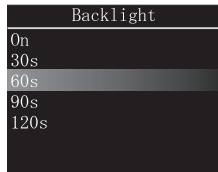
[Record]・・・録音時の音質(ビットレート)を設定します。

[Version]・・・本体ソフトウェアのバージョンを表示します。

※通常は使用しません。

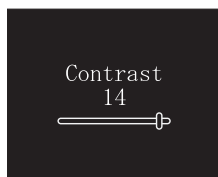
[Factory Setting]・・・工場出荷時の状態に初期化します。

[Back]・・・・・・・・・・モード選択画面に戻ります。



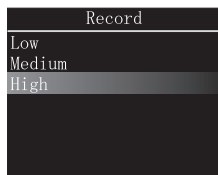
[Backlight]

液晶画面のバックライト点灯時間をON(常に点灯)から120s(秒)に設定します。⑧戻りボタン、⑬送りボタンで設定したい時間にカーソル(オレンジの帯)を合わせ③再生/一時停止ボタンで決定します。※ONに設定してもスリープ機能は働きます。



[Contrast]

液晶画面の表示の明るさ(強さ)を0~16に設定します。⑧戻りボタン、⑬送りボタンで設定したい明るさを表示させ③再生/一時停止ボタンで決定します。



[Record]

録音時に生成されるmp3ファイルのビットレート(音質とサイズ)を⑧戻りボタン、⑬送りボタンで

Low(96kbps)/Medium(128kbps)/High(160kbps)

から選択し、③再生/一時停止ボタンで決定します。

※Low⇒Highの順に音質は良くなりますが、音質が良いほど1曲当たりのファイルサイズは大きくなり、録音できる曲数が少なくなります。

各機能の操作方法



各種設定

本体の設定、録音設定、初期化等をするモードです。

Version

R-20250512143910

[Version]

現在のソフトウェアのバージョンが表示されます。

※通常は使用しません。

Factory Setting

Yes

No

[Factory Setting]

工場出荷時の状態に初期化します。⑧戻りボタン、⑬送りボタンでYes/Noを選択して③再生/一時停止ボタンで決定します。

※**Yes**で決定した場合は本体に設定されている情報がすべて消去され元に戻すことはできません。最初から設定してください。

Noで決定した場合は設定項目画面に戻ります。

System

Backlight

Contrast

Record

Version

Factory Setting

Back

すべての設定が完了したらBackを選択、③再生/一時停止ボタンで決定し、モード選択画面に戻ります。

各機能の操作方法

CDの使用方式

CDに関するご注意

- 本機で使用可能なディスクは右のマークのある市販のCDもしくはCD-R/RWです。CDG/CDV/CD-I/CD-ROM/DATA-DISC/DVD/BDなどは使用できません。
- コピーガード付きCD(CCCD等)は再生できない場合があります。



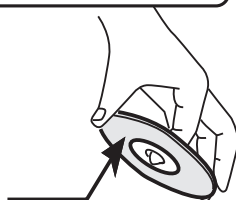
ディスクの取り扱いについて

ケースから取り出すときはホルダーを押さえ、再生面に触れないよう取出します



再生面には手を触れないでください。

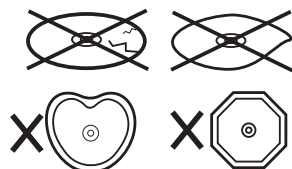
再生面



印刷面を上にも真ん中を押さえてしまいます。

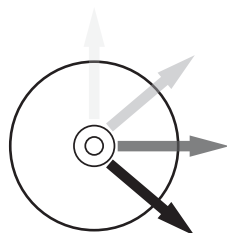


- ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクは危険ですので使用しないでください。
- ハート型や八角形などの特殊形状ディスクやラベルなどが貼付されたディスクは使用しないでください。故障の原因になります。
- 再生面・印刷面にテープやふせんを貼らないでください。



ディスクのお手入れについて

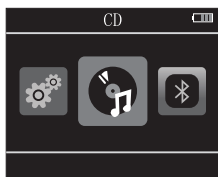
- シンナーやベンジン、レコード盤用クリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを傷める恐れがあります。
- CDを拭く時には柔らかいタオル等をご使用ください。ティッシュペーパーはディスクに細かな傷がつくので使用しないでください。
- CDを拭く時には中心から外側に放射状にまっすぐ拭いてください。CDは同心円状の傷に弱く再生できなくなる場合があります。



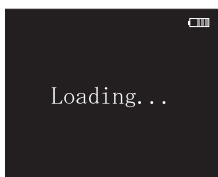
※少しずつずらしながら放射状に全体を拭く

各機能の操作方法

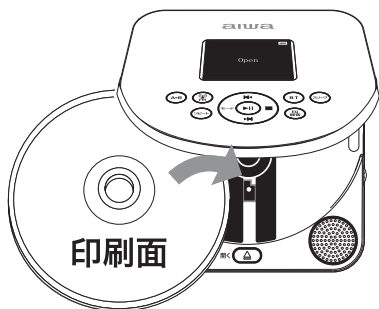
CDの再生方法



電源投入後、⑦モードボタンを押し[CD]の機能アイコンを⑧戻りボタン、⑬送りボタンで選択します。[CD]の機能アイコンが中央に表示された状態で③再生/一時停止を押して決定します。



[Loading...]表示 (CD読取動作) の後、[No Disc]が表示された場合は⑮CD蓋開放ボタンを押し、蓋を開きます。



文字や写真が印刷されている「印刷面」を上、何も印刷されていない記録面を下にして中心の回転軸に「カチッ」とはまるまでセットします。

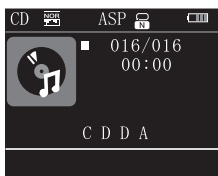
蓋を閉め[Loading...]表示 (CD読取動作) の後、CD再生画面が表示され、CDが自動で再生されます。

ASP(アンチスキップ / 音飛び防止機能) について

本機はCDから読み取ったデータを本体に約40秒分蓄積し、順に再生することで、直接的な振動などで発生する音飛びを防ぎます。振動や衝撃が継続的に続く場合はデータの読み取りが正常にできず、音飛びや無音が発生する場合があります。再生、録音をする場合は可能な限り水平で安定した場所でご使用ください。



CD再生画面



CD停止中画面

- ・再生中に③再生/一時停止ボタンを押すと再生が中断します。再度押すと再生が再開します。
- ・再生中に⑧戻りボタンを短く押すと前のトラックに移動します。長く押すと早戻しが可能です (音は鳴りません)
- ・再生中に⑬送りボタンを短く押すと次のトラックに移動します。長く押すと早送りが可能です (音は鳴りません)
- ・再生中に⑪停止ボタンを一度押すと再生を停止します。再度押すとスタンバイ状態になります。使用を再開するには③再生ボタンを押すとスタンバイから復旧し、続きから再生されます。

各機能の操作方法

Bluetooth®の受信方法

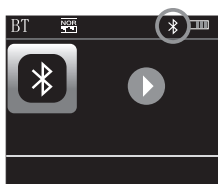
本機ではスマートフォンなどの音楽・音声を受信して再生することができます。

プロファイルA2DP/AVRCPにより、本機から対応機器を操作可能です。

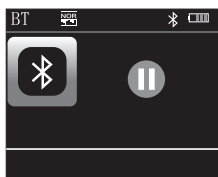
※Bluetooth®で受信した音声はmicroSDカードに録音できません。



電源投入後、⑦モードボタンを押し[BT RX]の機能アイコンを⑧戻りボタン、⑬送りボタンで選択します。[BT RX]の機能アイコンが中央に表示された状態で③再生/一時停止を押して決定します。



本機がペアリングモードになり、Bluetooth®再生画面右上の✱マークが点滅します。スマートフォンなどのBluetooth®機器一覧画面でGAA5-PCD0001を選択します。正常に接続がされた場合は「コネクテッド」とガイダンスが流れ✱マークが点灯に替わります。



本機の③再生/一時停止ボタン、またはスマートフォンなどのプレーヤーで再生ボタンを押すことで再生されます。

- ・再生中に③再生/一時停止ボタンを押すと再生が中断します。再度押すと再生が再開します。
- ・再生中に⑧戻りボタンを短く押すと前のトラックに移動します。長く押すと早戻しが可能です(音が鳴ります)
- ・再生中に⑬送りボタンを短く押すと次のトラックに移動します。長く押すと早送りが可能です(音が鳴ります)
- ・再生中に⑪停止ボタンを一度押すとスタンバイ状態になります。使用を再生するには③再生ボタンを押すと電源が入り、再度ペアリングが完了されます。③再生/一時停止ボタンを押すと続きから再生されます。

ご注意

Bluetooth®接続は原則1対1の接続です。受信側で先に他の機器が接続されている場合は接続ができません。本機で受信する場合は、本機または送信側機器に別の機器が接続されていないかをご確認いただき、その接続を解除してからペアリングしてください。

各機能の操作方法



FMラジオの使用法

本機ではFMラジオを受信することが可能です。

ご注意

ラジオは受信する場所により弱電界や建物等の死角となり受信できない場合があります。

※近隣にビル、団地やマンションなどがある場所。

※地下やトンネル内など電波の届かない場所。

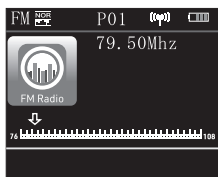
※山間部や海の近くなど電波の届きにくい場所。

※近くに幹線道路、高速道路、鉄道などがある場所など。

ノイズなどが多く、受信状態が悪いときは本機の向き、高さ、使用場所を変更しお試しください。



電源投入後、⑦モードボタンを押し[FM]の機能アイコンを⑧戻りボタン、⑬送りボタンで選択します。[FM]の機能アイコンが中央に表示された状態で③再生/一時停止を押して決定します。



FM操作画面

【オートチューニング+プリセット登録】

FM操作画面で⑪停止ボタンを押し、画面上部に[P01]を点滅表示させます。③再生/一時停止ボタンを押すと周波数が76→108へ自動でスキャンされ、受信可能な放送局が最大40件までプリセット登録されます。スキャン完了後は⑧戻りボタン、⑬送りボタンでプリセットチャンネルを変更できます。

【オートチューニング】

FM操作画面で⑧戻りボタン、⑬送りボタンを長押しすると自動でスキャンが始まり、最初にチューニングの合った放送局で止まり受信します。

【マニュアルチューニング】

FM操作画面で④A-Bリピートボタン、⑥リピートボタンを押すと0.1MHzごとに微調整が可能です。

各機能の操作方法

microSDの使用方法

本機ではCD/FMラジオ/外部入力音声をMP3でmicroSDに録音、再生することが可能です。

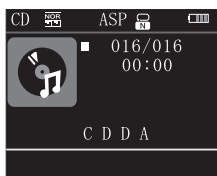
そのほか、パソコンなどで記録したMP3ファイルを再生可能です。

※ファイルサイズ、フォルダ構成により再生できない場合があります。

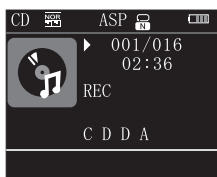
本書8ページをご覧ください、本体にmicroSDをセットしてください。

→ CDからmicroSDへの録音方法

※本機でCDからmicroSDへ録音する方式は、鳴っている音をMP3で記録するダイレクトエンコーディング方式です。CDに記録されたデータをMP3に変換するリッピング方式ではありませんので1曲毎にファイルは分けられません。ファイルを分ける場合は以下の方法で1曲ずつ録音してください。



CD停止中画面



CD録音中画面

本書13ページをご覧ください、本体にCDをセットします。

蓋を閉め[Loading...]表示(CD読取動作)の後、CD再生画面が表示され、CDが自動で再生されます。⑪停止ボタンを一度押して再生を停止します。

③再生/一時停止ボタンを連続で2回押し、1曲目の最初で一時停止した状態にします。

⑫イコライザー/録音ボタンを長押しして、液晶画面にRECが点滅表示されていること(録音中)を確認後、すぐに③再生/一時停止ボタンを押してCDを再生します。

1曲目が終了したタイミングで③再生/一時停止ボタンを押してCDを一時停止します。すぐに⑫イコライザー/録音ボタンを長押しして一旦録音を止めます。

再度⑫イコライザー/録音ボタンを長押しして録音を開始、液晶画面にRECが点滅表示されていること(録音中)を確認後、③再生/一時停止ボタンを押してCDを再生します。

録音を終了するには⑫イコライザー/録音ボタンを押し、REC表示が消えた事を確認してください。

各機能の操作方法



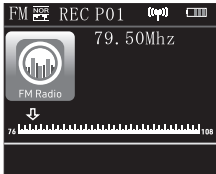
microSDの使用方法



FMラジオからmicroSDへの録音方法

本書8ページをご覧ください、本体にmicroSDをセットしてください。

本書15ページをご覧ください、録音したいラジオ局を鳴らします。



FM録音中画面

⑫イコライザー/録音ボタンを長押しして、液晶画面にRECが点滅表示されていること(録音中)を確認します。

録音を終了するには⑫イコライザー/録音ボタンを長押ししてREC表示が消えた事を確認してください。



外部機器からmicroSDへの録音方法

本書8ページをご覧ください、本体にmicroSDをセットしてください。

本書18ページをご覧ください、本体に外部機器をセットします。



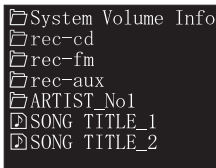
外部機器録音中画面

⑫イコライザー/録音ボタンを長押しして、液晶画面にRECが点滅表示されていること(録音中)を確認後、外部機器を再生します。

録音を終了するには⑫イコライザー/録音ボタンを長押ししてREC表示が消えた事を確認後、外部機器を停止してください。



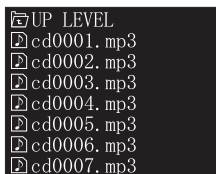
録音されたファイルについて



microSD内部構成

本機で録音した音源は下記のフォルダに、それぞれ録音された順番に格納されます。複数の音源から録音された場合は各フォルダごとに順番に再生されます。

※特定のフォルダやファイルを選択して表示・再生することも可能です。
microSDを再生中、または停止中に③再生/一時停止ボタンを長押しして、フォルダやファイルを選択してください。



rec-cd内部構成

▽System Volume Info …… microSD内を管理するためのフォルダ。使用しません。
▽rec-cd …… 本機でCDから録音されたMP3ファイルが格納されます。
▽rec-fm …… 本機でFMから録音されたMP3ファイルが格納されます。
▽rec-aux …… 本機外部入力から録音されたMP3ファイルが格納されます。
▽ARTIST_No1 …… パソコンで記録したフォルダです。
▽SONG_TITLE_1 …… パソコンで記録したファイルです。
▽SONG_TITLE_2 …… パソコンで記録したファイルです。

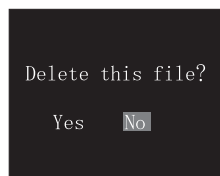
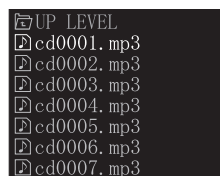
各機能の操作方法

microSDの使用方法

ファイルの削除方法

本機で録音、またはパソコンなどで格納したファイルを削除することが可能です。

※削除されたファイルは元に戻せませんのでご注意ください。



microSDを再生中、または停止中に③再生ボタンを長押しします。再生中のファイルが選択された状態（黄色）で表示されます。

※別のファイルを削除する場合は⑧戻りボタン、⑬送りボタンで他のファイルを選択、またはUP LEVEL項目より他のフォルダ内のファイルを選択してください。

目的のファイルが選択された状態で⑩スリープ/プログラムボタンを押します。

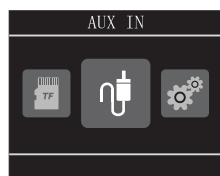
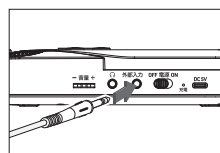
Delete this file? (削除しますか?) と表示されます。⑧戻りボタンまたは⑬送りボタンで[Yes][No]のいずれかを選択し③再生/一時停止ボタンで決定します。[Yes]を選択した状態で決定すると選択したファイルが削除されます。

※削除されたファイルは元に戻せませんのでご注意ください。

※[No]で決定した場合はファイルが選択された状態に戻ります。⑪停止ボタンで再生画面に戻ってください。

外部入力の使用方法

※本製品には接続用オーディオケーブルは付属しません。別途3.5mmステレオミニジャックのオーディオケーブルが必要です。



他のオーディオ機器の出力端子（イヤホンなど）から、本機の外部入力端子に接続することにより、他のオーディオ機器で再生した音楽をmicroSDに録音することが可能です（17ページ参照）

他のオーディオ機器にオーディオケーブル（別売り）を接続し、本機の電源がオフの状態でも外部入力端子にオーディオケーブルを接続します。

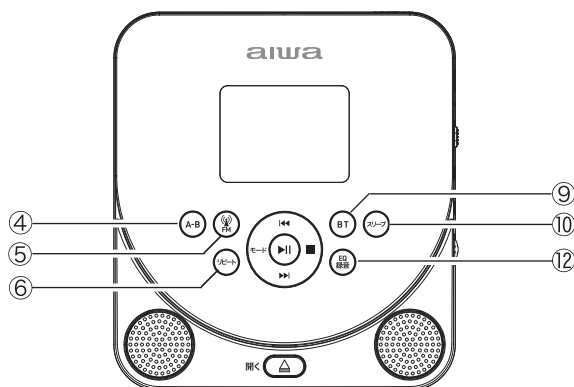
電源投入後⑦モードボタンを押し[AUX IN]の機能アイコンを⑧戻りボタン、⑬送りボタンで選択します。[AUX IN]の機能アイコンが中央に表示された状態で③再生/一時停止を押して決定します。

他のオーディオ機器の音量を少しずつ上げ、音割れがしない程度に調整します。

※接続する他のオーディオ機器の出力方式によっては十分な音量が得られず鳴らない場合があります。

便利な機能

本機では、各メイン機能を便利に使えるサブ機能があります。以下ではサブ機能ごとに使用できるメイン機能と、その使用方法を説明します。



④ A-Bリピート機能



CD

microSD



A-Bリピート
アイコン

- ・音楽を再生中、繰り返しの開始点で ④ A-Bリピートボタンを押します。
- ・画面上部にA-Bリピートアイコンが表示され、アイコン内のBの文字が点滅します。
- ・繰り返しの終了点で ④ A-Bリピートボタンを押すと、設定したA-B間を繰り返し再生します。
- ・A-Bリピート再生を解除するには ④ A-Bリピートボタンを押します。

⑤ FMトランスミッター機能



CD

microSD



FM送信アイコン

FM 76.30MHz
FM 79.10MHz
FM 81.60MHz
FM 82.50MHz
FM 85.60MHz
FM OFF

- ・音楽を再生中に⑤FM送信ボタンを押します。
- ・画面上部にFM送信アイコンが表示され、画面下部にFM 76.30MHzが約3秒間表示されます。(同時にスピーカーから音が出なくなります)
- ・カーオーディオなどFMラジオの受信ができる機器で76.30MHzにチューニングして受信します。
- ・⑤FM送信ボタンを押すたびに左記の周波数に切り替わります。雑音などが多い場合は送信周波数を変えてご使用ください。
- ・周波数切り替え最後のFM OFFで送信が解除されます。

便利な機能

⑥ リピート機能



CD

microSD

音楽を再生中に ⑥リピートボタンを押します。押すたびに以下の再生モードが切替り、画面上部に再生モードアイコンが表示され、画面下部にモード名称が約3秒間表示されます。



NORMAL リピート再生モードが解除された状態です。



REP 1 再生中の1曲を繰り返し再生します。



REP ALL すべてのファイルを順番に再生し繰り返します。



SHUF すべてのファイルを順不同に再生します。



INTRO すべてのファイルを最初の10秒間再生します。



REP FOLDER . . . 再生中のフォルダー内ファイルを順番に再生し繰り返します。

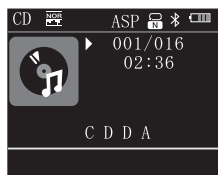
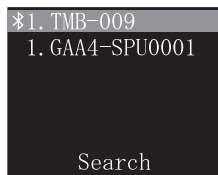
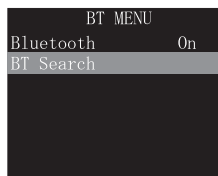
⑨ Bluetooth® 送信機能



CD

microSD

外部入力



CD/microSD/外部入力を再生中に⑨BTボタンを押します。液晶画面がBT MENUに替わり表示されるBluetooth On/Offの項目を③再生/一時停止ボタンでOnに切り替えます。

⑧戻りボタン、⑬送りボタンでBT Searchを選択し③再生/一時停止ボタンで決定します。Waiting...の表示が点滅し表示される機器一覧から⑧戻りボタン、⑬送りボタンで接続機器を選択し③再生/一時停止ボタンで決定します。

接続が完了すると※マークが表示され各接続機器から音が出ます。

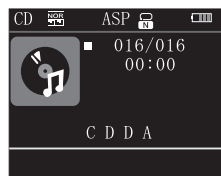
接続を解除するには ⑨BTボタンを押し、BT MENUでBluetooth On/Offの項目を③再生/一時停止ボタンでOffに切り替えます。

ご注意

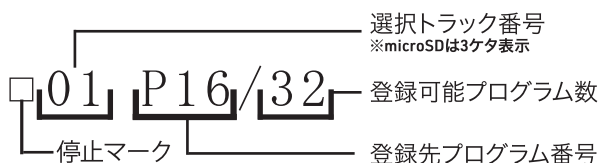
Bluetooth®接続は原則1対1の接続です。受信側で先に他の機器が接続されている場合は接続できません。本機で送信する場合は、本機または受信側機器に別の機器が接続されていないかをご確認いただき、その接続を解除してからペアリングしてください。

便利な機能

⑩ プログラム機能



- ・ ⑪停止ボタンで再生を停止状態にします
- ・ 再生の停止状態で⑩スリープ / プログラムボタンを押します。
- ・ 液晶画面に「Program」が表示されます。停止マークの右に表示される以下の情報を確認しながら⑧戻りボタン、⑬送りボタンでトラックを選択し、⑩ スリープ / プログラムボタンで登録します。 ※最大32トラック登録可能



- ・ 登録が完了したら③再生 / 一時停止ボタンで再生します。登録された順番でトラックが再生されます。⑪ 停止ボタンを押すと登録が解除され停止します。

⑩ スリープ機能



各機能を使用中に⑩スリープ / プログラムボタンを押し、時間を設定する事により、設定された時間が経過すると自動で電源が切れるスリープ機能が使用できます。

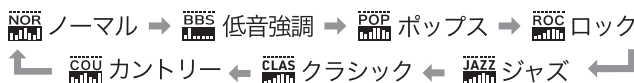
設定可能時間(分):15/30/45/60/90/120/OFF

設定をキャンセルするには⑩スリープ / プログラムボタンを数回押してSLEEP OFFを選択します。

⑫ イコライザー機能



各機能を使用中に⑫EQ録音ボタンを押すことで、再生音の音質を変えることができます。押すたびに以下の内容で、順番に各ジャンルに合った音質に切り替わります。



故障かな？と思ったら

共通	電源が入らない	●本製品の電源は充電式です。付属の充電用コードで十分に充電してご使用ください。 ●本体右側面の電源スイッチをオンにしてください。
CD	読取・再生ができない	●モード(機能)選択はCDになっていますか。 ●CDを入れる向きが間違っていないか。文字や写真が印刷された印刷面を上、キラキラした面を下にセットしてください。 ●CDに汚れ、傷はありませんか。汚れについては本書12ページを参照してクリーニングしてください。 ●読取レンズが汚れている可能性があります。市販のCDレンズクリーナー等でクリーニングしてください。 ※読取レンズには触れないでください、故障の原因になります。
	音飛び・雑音がある	●本機には音飛び防止機能(ASP)がありますが、振動や衝撃が継続的に続くと、音飛びが発生します。可能な限り水平で安定した場所でご使用ください。 ●バッテリー残量低下により雑音が発生します。本体を充電してください。
Bluetooth®	接続できない	●Bluetooth®の送受信可能な範囲の10m以内に近づいてください。 ●Bluetooth®接続は原則1対1の接続です。他の機器が接続されている場合は接続を解除してからペアリングしてください。
ラジオ	受信できない 雑音が多い	●本製品はAMラジオの受信はできません。AM放送についてはワイドFMでお楽しみください。(民放ラジオ局のみ) ●山間部や鉄筋の建物、大きな建物のビル影は受信状態に影響を受けやすく、受信ができない、ノイズが多くなる場合があります。本体の向き、高さ、角度を変える、受信場所を移動するなどしてお試しください。 ●本機は本体内蔵アンテナで受信します。コードを接続しても受信感度は変わりません。本体の向き、高さ、角度を変える、受信場所を移動するなどしてお試しください。 ●受信可能な電波はご使用場所によって異なります。オートチューニングによるプリセット登録をしている場合は外出時など、ご使用場所が変わることで受信出来なくなることがあります。ご使用場所ごとにチューニングしなおしてください。 ●オートチューニングは一定の受信強度が得られない場合反応しません。雑音まじりに放送が聴き取れる場合でも、反応せず受信・登録がされないことがあります。本体の向き、高さ、角度を変える、受信場所を移動するなどしてお試しください。また、本誌15ページを参照してマニュアルチューニングをお試しください。

故障かな？と思ったら

microSD	認識されない	●本製品で使用可能なmicroSDは推奨32GBまでです。さらに容量の大きなmicroSDカードは動作保証外となります。 ●他の機器で使用されたmicroSDは認識されない場合があります。パソコンをご使用であればフォーマットしてください。または新しいmicroSDでお試してください。
	音飛び・雑音がする	●録音時のCD再生中に継続的な振動や衝撃、本体の傾きにより正常な読取がされていない可能性があります。可能な限り水平で安定した場所で録音・再生してください。 ●microSD内のファイルが破損している可能性があります。本誌18ページを参照し、該当のファイルを削除してお試してください。 ●バッテリー残量低下により雑音が発生します。本体を充電してください。
外部入力	音が出ない	●本機または外部機器は正しく接続されていますか。ケーブルの差込口を確認してください。 ●外部機器の出力方式によっては音が出ない場合があります。外部機器のイヤフォン端子に接続してください。
	雑音がする	●外部機器の音量を下げてください。 ●使用しているオーディオケーブルのプラグ部分が汚れている可能性があります。アルコールを含むウェットティッシュなどでプラグ部分を拭いてください。 ●使用しているオーディオケーブルが断線しかかっている可能性があります。新しいオーディオケーブルでお試してください。

製品仕様

本体サイズ (約)	幅 約 14 × 奥行 約 15 × 高さ 約 3.5 cm
本体重量	約 330g
画面サイズ	2 inch TFT液晶 (縦約32mm× 横約40mm)
スピーカー	3W × 2
FMラジオ	76 ~ 108 MHz (ワイドFM対応)
対応ディスク	CD,CD-R/RW (MP3,WMA対応),HDCD
対応外部メモリー	microSDカード : (MP3,WAV,WMA対応)32GBまで推奨
録音ビットレート	MP3: Low (96kbps) /Medium (128kbps) /High (160kbps)
ヘッドフォン端子	3.5mmステレオミニジャック
電源	INPUT:DC5V-2A Type-C (電源供給のみ)
内蔵バッテリー	3.7V 2,000mAh (約4時間でフル充電) ※充電状況、環境により異なります。
音楽再生可能時間	約5時間 (CD使用、音量中程度、満充電の場合) ※使用状況、環境により異なります。

※仕様は予告なく変更する場合があります。

※aiwaおよびaiwaロゴはアイワ株式会社の登録商標です。

※そのほか、記載の会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

メモ（お問合せ時などにご活用ください）

アフターサービスについては、直接下記サポート窓口までお問い合わせください。

サポートセンター

TEL:0570-055-054 (ナビダイヤル 有料)

FAX:048-997-2082 (有料)

受付時間 10:00～12:00、13:00～17:00 (土、日、祝祭日および当社規定休業日を除く)

Eメールアドレス : aiwa@tohshoh.jp

- 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
- サポートセンターの電話番号、対応時間などは予告なく変更することがあります。
- 年末年始などのサポートセンターの休業日には、お客様への対応ができない場合がございます。

※本製品に関するお問い合わせ、サポート、サービスについては、日本国内限定とさせていただきます。

〈販売元〉

株式会社とうしょう (aiwa 特約エージェント)

〒340-0802 埼玉県八潮市鶴ヶ曽根1442-1

aiwa